

令和7年8月4日

報道機関各位



長岡リリックホール
Nagaoka Lyric Hall

君のとなりと長岡
熱中!感動!高小教育

(公財) 長岡市芸術文化振興財団 事務局長

プロの演出家・俳優から指導を受け、迫力の舞台!

子どもたちによるオリジナルミュージカルを上演

長岡市芸術文化振興財団では、これからの時代を担う子どもたちに対して芸術文化に親しむ機会を提供するため、ジュニアミュージカル育成事業を実施しています。

このたび、7か月にわたる稽古を経て、オリジナルミュージカルを上演します。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

君のとなりに名探偵～もしくは見えないお友達～

- 1 日時 8月11日(祝・月) 開演/午後2時(終演/午後3時)
- 2 会場 長岡リリックホール シアター (長岡市千秋3丁目1356番地6)
- 3 内容 別紙をご覧ください。
- 4 その他
 - ・取材を希望される場合は、撮影エリアを指定させていただきますので、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
 - ・終演後、子どもたちにインタビューも可能です。

【リリック・ジュニア・ミュージカル】

平成16年度から市民提案事業としてスタート。東京のプロのミュージカル劇団員による指導のほか、市民からなる実行委員が稽古のサポートや衣装づくりを行っています。現在、小学3年生から高校3年生が在籍しています。



問い合わせ：(公財) 長岡市芸術文化振興財団 殖栗

Tel: 0258-29-7715

ただいま稽古中!

2月から稽古がスタートしました。ミュージカル出演者、そしてそれを支えるサポーターのコメントをご紹介します。

最初はちゃんとできるのか、仲間とコミュニケーションがとれるのかなど不安もありました。でも優しい仲間と歌やダンスの練習をしながら少しずつうまくできるようになってきました。今回、幽霊役を演じます。長岡空襲に関する物語なのでいろんな資料を見て、私なりに気持ちを伝えられるよう練習をしていたら、先生に「表情が良くなったね」とほめられました。今後も気持ちをこめて練習や歌をがんばっていきます。8月の公演日には役者全員の色んな表情をぜひ見に来てください。



ひろかわ あいり
廣川 愛莉
(入団1年目 小学5年生)

今回のミュージカルは、僕にとっては初めての大舞台になります。なので、最初はとても緊張していました。しかし、ほかの学校の人達と役の設定を考えたりしていくうちに、だんだん楽しくなってきました。僕が演じる宮崎隼人は、数々の難事件を解決している、小学6年生の探偵団の一人です。僕が演じる時、「隼人だったらどう感じるか、どう思うか」と、想像しながら演じています。なかなか難しいことですが、頑張っています。ぜひ、僕たちが作り上げたミュージカルを、観に来てください!



きむら ことき
木村 権也
(入団2年目 小学6年生)

始めたばかりの頃は友達が少なく不安や緊張もあったけど、ミュージカルを通して個性豊かな仲間とアイデアを出し合ったり、作り上げる楽しさを学ぶことができました。今回の舞台は現代っ子的名探偵がダンスクラブの抱えているトラブルを解決していくお話です! 私の演じる「真央」は、負けず嫌いでちょっと気持ちがひねくれている面倒臭い子です。物語が進んで真央の心が変化していくところを一生懸命演じたいです。役者一同真剣に楽しく演じる姿を見ていただくと嬉しいです!



おつすか あきひろ
大平 季奈
(入団6年目 中学3年生)

サポーターもがんばっています!

おくむら まりこ
奥村 万利子 衣装づくりで楽しくサポート中!



息子が小学校4年生の時から約7年間サポートをしています。衣装や小道具作りが主で、作業が無い時はダンスや歌の練習のサポートや見守りを。衣装作りでは、できるだけ簡単に縫えて・脱ぎ着しやすく・動きやすく・客席からもなんの役か分かりやすく・演じている子どもたちのテンションが上がるものになるように、ということ毎回サポートスタッフ仲間と楽しく考えながら形にしています。練習1回ごとに物語の世界観に厚みが出てきつつ、子どもたちの心の距離も縮まっていく様子を間近で見られることがサポーターの醍醐味です。

やました みゆゆ
山下 美冬 社会人1年目のOGです!

指導者ではなく子どもたちの隣で一緒に汗をかきながら稽古をサポートしています。子どもたちが講師のアドバイスをぐんぐん吸収して「演者」として目覚めていく様には、毎回感動させられます。稽古では子どもたちのダンスのサポートをすることが多く、今回の作品では、ダンスクラブのメンバー役の子どもたちと一緒に振り付けを考えました。作品冒頭のダンスシーンは思わず観客の皆さんも踊りたくなるようなノリノリなシーンなので、ぜひ子どもたちのパワフルなダンスに注目していただきたいです!

特集 リリック・ジュニア・ミュージカル公演

君のとなりに名探偵

～もしくは見えないお友達～

2004年にスタートした、リリック・ジュニア・ミュージカル。今年8月の公演に向け、現在小学3年生から高校3年生の34名が、心を合わせて稽古に取り組んでいます。

「君のとなりに名探偵」は、今回の公演のために書き下ろされた新作です! 脚本を手掛けた山谷典子さんと演出を務める坂口阿紀さんから、作品や長岡の子どもたちへの想いなど、お話を伺いました!



演出坂口

「生きてるまんじゅう」について

「長岡空襲」が物語に出てきます。知っているようで知らないことがたくさんある私たち。子どもたちには、この作品を通してもう一歩踏み込んで「生きてること」について考えて欲しいと思っています。そして、歌やダンスにそれぞれ思いを乗せ、お客さまに届けられるよう頑張ります!

脚本山谷

「未来」を考える
この作品は、子どもたちの未来を応援したいと思っただけで産み出した物語です。そこで、過去に起こってしまった「戦争」に現代の子もまた向き合う場面を設定しました。物語をとおして「私たちの未来はどんな未来にしたい?」「子どもたちにどんな未来を残したい?」と皆さんが考えるきっかけになれば嬉しいです。

曲もダンスも楽しい!

デモテープが届き、我が家でテーマ曲を流していたら、小1の息子がいつの間にか熱唱するようになっていました(笑)。2月に長岡の稽古場にお邪魔しましたが、振り付けも楽しく、古くは坂口さんの指導で子どもたちの声がとても伸びていく様子に感動しました。8月の本番には、もっともっと素敵になっていく子どもたちの姿をたくさんのお客様に観ていただきたいです。



◆演出
坂口 阿紀
さかぐち あき
株式会社オールスタッフ所属。様々なミュージカルの脚本・演出・歌唱指導に携わる。

演出坂口

「長岡の子どもたちに感じるまんじゅう」

子どもたちと関わるうえで、一人ひとりの個性を大切にしよう心がけています。自分の得意なこと、ワクワクすること...それがわかった瞬間の子どもたちの表情は大きく変わります。その瞬間を見逃さないよう、みんなのキラキラした姿を舞台上で存分に発揮できるように見守っています。

また、私はこのリリック・ジュニア・ミュージカルに20年間携わっています。毎年感じていることですが、長岡の子どもたちは「いざいざ!」というときに、積極的に前へ進む強さがあります。2月のオーディションでは全員がとても緊張していましたが、今では、初舞台となるメンバーに経験者が積極的に教えている、頼もしい姿が見られます。そんな子どもたちのチームワークも舞台から感じ取っていただければと思います。

脚本山谷

約15年前、劇団「文学座」所属俳優として、演劇ワークショップの指導にリリックホールへ訪れたことがあります。その時も今も、長岡の子どもたちはとても熱心で生き生きとしているのが印象的です。それは、子どもの居場所が主に学校と家庭の二つですが、長岡にはもう一つ「演劇の場」があるからだと思います。演劇が子どもたちの拠り所となるということは、私自身の願いでもあるので、このような環境がある長岡はとても素晴らしいと思います。



◆脚本
山谷 典子
やまや のりこ
演劇集団Ring-Bong主宰・劇作家。文学座退団後、フリーで幅広く活動している。

リリック・ジュニア・ミュージカル公演

君のとなりに名探偵 ~もしくは見えないお友達~

8/11月祝

開場 13:30
開演 14:00

長岡リリックホール・シアター

好評発売中!

全席自由 1,000円 ※4歳から入場できます

あらすじ

とある小学校の放課後の体育館。ダンス部が練習をしていると突然の謎の停電。そこへ現れた子どもだけに見える白い服の子どもたち。彼らは何かを伝えるために現れたのだった。名探偵NKの面々はこの謎を解決できるのだろうか…。語り伝えてゆく戦争の記憶と明るい未来へ生きる子どもたちの物語。

脚本・作詞/山谷典子 音楽/吉田さとる 演出/坂口阿紀
イッツフォーリーズクリエイティブスタッフ/米谷美穂、中山圭、大浴ひろ、鈴木彩子
長岡講師/小杉佐智子 稽古ピアニスト/遠山礼子、内山英美
音響協力/松田朋子(キャンピット) 美術・舞台監督/アートシーン
企画制作/土屋友紀子(オールスタッフ)

